

【介護保険事業について】
問 包括支援・任意事業費における助成内容の変更は

答 介護者に助成するもので、その方の所得によって異なります。平成23年度までは申請月が違っても年間で一律の助成をしていましたが、平成24年度から四半期ごとに利率を設け、申請月により助成額を変更することにしたためです。

問 包括支援・任意事業費の技術派遣職員負担金とは

答 地域包括支援センターには、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの三職種を配置することになっていますが、主任ケアマネジャーが定年退職により不在となるため、技術職員の派遣をお願いするための費用です。

【国民健康保険事業について】
問 一般被保険者療養給付金が近年19億円前後に落ち着いたが、予防の成果は出ているのか

答 予防活動も行ってありますが、一般被保険者の減少傾向によるものと思われれます。

【上下水道事業について】
問 下水道事業のマンホールの耐震化の進捗率は

答 平成22年度から平成24年度未までの設置状況は、浮上抑制工152基、耐震化工は98基です。



マンホール浮上抑制工事

問 平成25年度は、浮上抑制工が76基、耐震化工を8基予定しています。

問 水道事業の年間有収率が減少している

答 漏水などを考慮して低めに設定しています。これを上回るように努力します。

【病院事業について】
問 今回の医師確保対策について、派遣医師の人数は何人か

答 循環器系医師1名です。

問 医師減少にともなう手術の対応は

答 4月以降の外科の常勤医師は1名体制となり、今まで以上に手術

は厳しい状況になると考えています。

問 脳神経外科は患者数が増える予想だが、手術の対応は

答 平成24年度から医師2名体制になりましたが、この2名は脊髄、脊椎、ヘルニアなどの手術を専門としています。



委員間での討議

討議結果について取り組みを求める意見書を提出することが委員全員の総意として決定しました。

意見書

2月定例会における文教厚生委員会付託案件に関する審査意見について

平成25年3月22日

議案第34号 平成25年度御前崎市農業集落排水事業特別会計予算について
議案第35号 平成25年度御前崎市下水道事業特別会計予算について

(審査意見)

市の公共、農排下水道の耐震化については、政府の方針に呼応して早急に計画を策定し速やかな施工を求める。

議案第38号 平成25年度御前崎市病院事業会計予算について

(審査意見)

総合病院の経営環境、特に医師不足による入院、外来の収益の減少が危惧されている。医師不足については、採用環境が更に悪化している。こうした状況の中で、市民の医療要求に応えるべく、サテライト病院等も含めた中で経営の研究をしていただくよう求める。

委員会報告

一般会計予算決算審査特別委員会

平成24年度一般会計予算の補正(第3号)及び平成25年度一般会計予算について審議を行い、市長に次のように意見書を提出しました。

1 平成24年度御前崎市一般会計予算の補正(第3号)について

【農林水産課】 市民農園については適正な執行を求める。

【商工観光課】 観光基金造成については、目的を持った基金造成を求める。

【福祉課】 市内の生活保護世帯数が増加傾向であり、適切に査察が行えるよう、生活保護者に対する日常相談及び就業機会の増加に向けてマンパワーの増員を求める。

2 平成25年度御前崎市一般会計予算について

【防災課】 消防署建設のスケジュールが平成27年5月竣工となっているが、新消防庁舎の建設については、早期完成に向けて努力を求める。

【社会教育課】 トイレ、グラウンド、管理棟の屋根などを含め、御前崎総合グラウンドの未整備部分について、要望に沿った整備を早期に完成することを求める。

行財政改革特別委員会

3月4日開催の委員会では、保育園の民営化について調査・研究を行いました。

財政面でのメリットは、民営化に伴う国や県からの補助金が見込まれます。デメリットとしては、定員が180人から200人程度の園児がいないと運営が厳しいということ、また運営する民間団体が果してあるかどうかという問題点があげられました。

しかし、市内公立保育園の内、1園でも民営化を実現し、保育園が互いに競争し合い、刺激を受けあうことが必要ではないかとの意見が出されました。

今後は、費用面について、近隣市の公立及び民間保育園の比較シミュレーションや視察研修を行い、引き続き保育園の民営化についての調査・研究を続けていきます。